

令和8年6月20日

学校法人山陽女学園
広島歯科技工士専門学校
校長 赤川 安正 殿

学校関係者評価委員会
委員長 熊谷 宏

学校関係者評価委員会報告書

令和7年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

熊谷 宏	(一社) 広島県歯科医師会副会長 (委員長)
濱本 満弘	(一社) 広島県歯科技工士会 副会長
栗栖 文夫	栗栖歯科クリニック 院長
石井 卓	和田精密歯研株式会社 広島センター所長
黒川 文士	広島歯科技工士専門学校 同窓会会長
坂本 大祐	保護者 代表

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会	令和7年 7月 3日 (会場: 専門学校棟 2階教室)
第2回委員会	令和7年 11月 13日 (会場: 専門学校棟 2階教室)
第3回委員会	令和8年 2月 26日 (会場: 専門学校棟 2階教室)

3 学校関係者委員会報告

*別紙のとおり

以上

I 令和7年度 自己評価の各評価項目について

基準1 教育理念・目的・人材育成像

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・教育理念・目的・人材育成像、学則等が学生便覧に明記されている。また、学校案内やホームページ等でも広く周知されているので、今後も社会のニーズに合わせていただきたい。
- ・卒業認定・専門士の称号授与に関する方針、教育課程編成・実施方針、入学者受入れ方針を定めて明確になった。
- ・ホームページは更新されて、より分かり易い表示になってきているので良いと思う。引き続き、新着情報を更新するとともにリニューアルを継続していただきたい。

基準2 学校運営

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・学校法人山陽女学園の理事会及び評議員会で、学校運営の意思決定システムが整備されているのが良い。
- ・学校法人山陽女学園及び広島歯科技工士専門学校の諸規定のもと、法令順守に務められているので継続していただきたい。
- ・学校基本法改正による対応として談三者評価の準備を進めていただきたい。
- ・ホームページにより一般の方に情報公開されているので継続して頂きたい。
- ・Wi-Fiの導入など情報システム化の改善がみられる等、業務の効率化がみられるので、今後も継続して欲しい。

基準3 教育活動

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・卒業生の就業先の評価アンケート調査を実施する等、業界が求める教育方針や人材像を把握し、更に教育課程編成委員会を開催して提言を頂き、教育編成に生かされているのが良い。
- ・教育課程編成の改善を継続し、モチベーション維持に取り組み、休学者・退学者の減少につなげてもらいたい。
- ・本年度も専任教員の研修については、専攻分野の実務研修や指導力の指導力の習得・向上のための研修を、積極的に参加されており継続していただきたい。

基準4 学修成果

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・学業不振による学習意欲の低下を理由として退学する者が多いと聞くと、学生の声を集めてモチベーションを上げる工夫を検討されたらどうか。
- ・心に病を持った学生も多いと聞くと、継続的に細心の注意を払い寄り添って頂きたい。
- ・国家試験対策として、模擬試験、個別指導と日頃から取り組んでいるので、今後も継続して高い合格率を維持していただきたい。
- ・キャリアセンターの運営を工夫して、卒業後も就職支援を続けていただきたい。

基準5 学生支援

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・キャリア教育の充実を図る目的として、企業と連携した授業が行われているので、即戦力として社会に送り出せるよう、今後、一層力を入れて取り組んでいただきたい。
- ・心に病を持った学生に対しては、カウンセラーに相談する等、専門家の意見を参考にされているようですが、デリケートな問題ですので、保護者とも連携を取りながら細心の注意を払って対応して欲しい。
- ・親睦目的の学生主催行事をサポートされているのは、学校が楽しい場所であることのイメージアップに繋がるので、今後も学生からの要望があれば継続していただきたい。
- ・女子寮の受入れ、登下校時の服装自由化などの支援を時代に沿った改善を継続していただきたい。
- ・高等学校との連携により、体験授業の実施を積極的に実施していることはキャリア教育として大きいので、継続していただきたい。

基準6 教育環境

【評価結果：ほぼ適切に整備されている。】

- ・企業連携授業やインターンシップ等で、臨床に触れる機会を持ったことは良かったと思う。引き続き実施していただきたい。
- ・1年次から臨床現場の見学実習を取り入れられたことは、モチベーション向上に繋がると思うので継続していただきたい。
- ・学校保健計画の作成に沿った保健活動を実施していただきたい。
- ・CAD/CAM等の機器を整備されており、業界のニーズに合ったデジタル教育を期待している。

基準7 学生の募集と受入れ

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・定員を充足していない状態が続いている。少子社会で学生募集も難しいと思うが、各方面への広報活動を続けていただきたい。
- ・高校訪問について、訪問校の見直しや、回数等の年間計画を見直されて努力されているので、継続していただきたい。
- ・教育訓練給付制度「専門実践教育訓練」施設の指定を受けていることは、社会人の受け入れに繋がると思うので継続していただきたい。

基準8 財 務

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・今年度入学生が充足率70%と少し盛り返してはいるが、依然として財務は非常に厳しいと思われる。健全化のためにも学生募集に努力して頂きたい。一方、退学者を出さない取り組みにも努めていただきたい。
- ・財務的に厳しい状況ではあるが、学生募集活動（経費）を縮小しないでいただきたい。

基準9 法令等の遵守

【評価結果：適切に実施している。】

- ・ハラスメントについて、言動には十分に気を付けていただきたい。
- ・個人情報の漏洩には、くれぐれも気を付けていただきたい。

基準10 社会貢献・地域貢献

【評価結果：やや不適切である。】

- ・各方面での行事が復活し、地域のイベント等にも参加しているとの報告があったが、歯科技工士をアピールできる機会でもあり、今後も協力、貢献するよう継続していただきたい。
- ・学生がボランティア活動に取り組む環境を整えることを検討していただきたい。
- ・教員による補綴装置等に関する公開講座を開催してみてはいかがか。

II 令和8年度 重点的に取り組む目標や計画について

1. 重点目標①「教育活動」について

1) 企業と連携した職業教育

*歯科技工所の見学実習を実施されたとの報告があった。臨床現場を知ることは重要であるので、継続していただきたい。

*今年度も企業（歯科技工所3社）と連携授業を実施されたことは、目標を達成されており継続していただきたい。

2) 国家試験対策

*全国模擬試験（学説）を受験されたり、学内模擬などを実施されている。

また、成績不振者には個別指導をされているようで、国家試験合格率100%を維持することが入学者の確保にもつながると思うので継続していただきたい。

2. 重点目標② 「入学生の確保」について

1) 広報活動

*全体的な広報の在り方や年間計画の見直しが行われたとの報告があり、その効果により令和7年度の入学予定者が7割と回復している。今後も継続して入学生の確保に努めていただきたい。

*広報の見直しをされた報告事項を以下に記載しておく。多方面および多種に渡っての広報活動を今後も継続していただきたい。

①ホームページの更新

②学校案内パンフレットの更新

③ネット広告（スマートフォン）の発信

2) 高校訪問

*高校訪問は絶対的に必要であり、令和7度は5回訪問されており、訪問時期等も4月からと見直されているので、今後も継続していただきたい。

*生徒一人一人に配布されたチラシは、歯科技工士を知ってもらう方法として効果的だと思います。先生や生徒にアピールし、学生確保に繋がる事を望みます。

*高校の先生から生徒へつながる資料を考案してみたいかでしょうか。

3) 歯科関係団体との連携

*歯科関係団体との連携を密に進め、協力を仰ぐことは大事だと思いますので、今後も継続していただきたい。

4) 社会人（既卒者）の受け入れ

*教育訓練給付制度「専門実践教育訓練」の講座指定を得られ、入学予定者に利用者がいるとの報告がありました。少子化の折、社会人の受講経費の負担が減り、入学者が一人でも増えることが期待できると思います。広報の一環としてアピールしたら良いと思う。

5) オープンキャンパスの参加者が増加しているが、入学者の増加に繋がっていない。アピールポイントや体験内容、参加者への接し方などの工夫を検討していただきたい。

3. 重点目標③「業務の見直し」について

1) 教職員の業務

*教職員一人の過重負担にならないように、必要に応じて見直しを検討されたら良いと思います。

4. 重点目標④「中途退学者の減少」について

1) 学習意欲（モチベーション）の向上

*今年度から1年次に臨床現場の見学を実施されたことは良かったと思います。歯科技工所の見学を実施出来たことは、将来の目標が感じられ、学習意欲にもつながると思うので継続していただきたい。

*関心が持てる実習の見直しの検討を継続していただきたい。

*過密な授業時間、課題はモチベーションの低下に繋がるので、改善していただきたい。

2) 学業不振者への対応

*放課後等の指導を引き続き行い、脱落者の防止に努めて頂きたい。

3) 心に病を抱えた学生への対応

*保証人（保護者）との連携と専門のカウンセラーに相談する等、引き続き実施していただきたい。

5. 重点目標⑤「その他」

1) 職業実践専門課程認定の機関要件を継続する為に、以下の各委員会等の開催を引き続き実施していただきたい。

*自己点検、自己評価の実施（2月に年間評価を実施）

*学校関係者評価委員会の開催（年2回以上）

・第1回：令和8年7月2日(木)

・第2回：令和9年2月25日(木)

*教育課程編成委員会の開催（年2回以上の開催）

・第1回：令和8年8月20日(木)

・第2回：令和9年2月18日(木)

*企業との連携授業（2社、1団体）の実施

*教員の実務研修の受講（10回）

2) 保護者懇談会及び個別懇談会が開催されているので継続してほしい。

*令和8年10月24日(土)に個別懇談会の実施

*学校生活の状況報告と成績、及び出席状況等の通知